
第3節 子どもの読書活動推進の目指す姿

1. 基本方針

子どもの読書活動の推進に関する法律の基本理念、国・県の策定した子ども読書活動推進計画、第1次計画での取組状況と課題を踏まえ、引き続き、次の基本方針に基づき子どもの読書活動を推進していきます。

狭山市のすべての子どもが、その成長過程において出会うべき本と出会い、読書の楽しさや喜びを実感することにより、自ら進んで読書に親しみ、生涯の読書活動を豊かなものにすることを目指します。

2. 基本目標

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校における子どもが本に親しむ機会の充実

すべての子どもが、年齢や発達段階に合わせて読書の楽しさや喜びを経験することができるよう、家庭、地域や学校など様々な場において、子どもが本に親しむ機会を充実します。

基本目標Ⅱ 子どもの読書活動を推進するための環境の充実

子どもが、身近に読書に親しむことができるよう、図書館や学校図書館などにおいて、図書資料、設備や人材を含む環境を充実します。

基本目標Ⅲ 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

子どもの読書活動を推進するためには、子どもへの働きかけはもとより、保護者など周りの大人が読書の意義や必要性についての理解を深めることが求められることから、様々な場面で啓発や広報を推進します。

3. 目 標

- (1) 「本を読むことが好き」あるいは「どちらかといえば好き」と答えた子どもの割合

	平成29年度	平成34年度目標
小学2年生	93.3%	98.0%
小学5年生	77.7%	88.0%
中学2年生	78.5%	84.0%

- (2) ひと月に本を読む冊数が「0冊」と答えた子どもの割合

	平成29年度	平成34年度目標
小学2年生	2.1%	1.0%
小学5年生	9.6%	8.0%
中学2年生	9.7%	8.0%

- (3) 18歳以下人口一人当たりの図書館所蔵児童書貸出冊数

平成29年度	平成34年度目標
14.0冊	15.0冊

- (4) 市立図書館で本を「月に1回以上」あるいは「年に何回かは」借りると答えた子どもの割合

	平成29年度	平成34年度目標
小学2年生	64.2%	68.0%
小学5年生	56.8%	60.0%
中学2年生	31.7%	34.0%

- (5) 休み時間や放課後に学校図書館を「よく利用する」あるいは「たまに利用する」と答えた子どもの割合

	平成29年度	平成34年度目標
小学2年生	70.5%	74.0%
小学5年生	57.6%	61.0%
中学2年生	22.0%	27.0%